

ボルト・ポリッシュファイン 世界一高額のパリッシュ剤

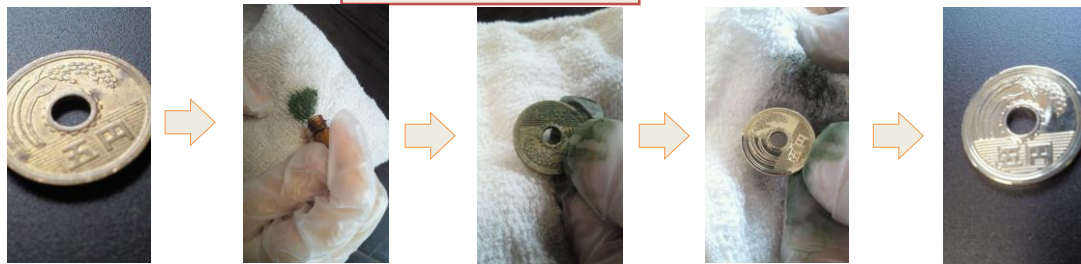
※溶解研磨剤が超微粒子の為汗線の穴に入り、洗浄が難しくなりますので、必ずゴム手袋を装着の上、衣服が汚れないように防護されて、換気の良い環境で施工して下さい。



メッキしたような仕上がり
に激変



10円でも同様に!



1 施工手順※最初は信用されないの、真鍮ブラス(五円玉を施工展示した上での商談が有効)

- 軽い清掃で十分
- 施工付近は、必要に応じてマスキングをする(楽器や車両の場合は、塗装面のマスキングを)
- 素材が、ジーンズなどの硬めのクロスと、拭き上げ用の極細繊維クロスを用意
- 本溶剤をよくふって沈殿をなくす(サヌカイトが直ぐに沈殿する為)
- 本溶剤を、施工面積に応じて、適量クロスに付ける(約50cm 角適量⇒1cc) 💡1
- ホイールは、円を描くように素早く磨き上げる(五円玉の演出は、45度ずつ回しながら磨く)
- 黒い成分が溶け出だしてくると仕上がりが近い
- 施工途中で放置すると、変色・素材の溶解となるので、施工途中でゼットタイに中止しない
- 必ず、別の乾いた極細繊維のクロスで、強く押し当てながら磨き上げること 💡2
- 施工後は、中性洗剤や、油分分離洗剤などで洗浄
- 粒子がマイクロレベルの微粒子の為、洗い流す下の環境を考慮して施工の準備を
- 洗い流したままにしておくと、床面や周囲に浸透しミドリ色のシミ汚れ現象となるので要注意 💡3
- 粒子が微粒な為、毛穴・汗腺に入り込む恐れがあるので、ゴム手袋の装着必須
- 洗い流す為に使用したクロスは、廃棄し再利用しない

2 表面の保護剤を塗布

- 施工面を拭き上げ、一旦乾燥させる。
- 完全に乾いた状態を確認して「997」を施工・・・すると長期間施工依頼がなくなる可能性大!!
- モーターショー出展で、より超超・鏡面に仕立てる場合は HGP(オイルガラス)仕上げで。
- ※ 約 6 時間程度、雨などの水分が掛からないように保護。

※ ブラスバンド楽器(金管楽器など)の場合、クリアー塗装仕上げ品は、施工しない事

表面の不良施工の元や、音程不良の責任問題回避(シンバル・鐘・仏壇のご輪・鐘類は OK)

金属の本質を知る

有り得ない光沢を体感すると
